

科目名	基礎柔道整復学Ⅲ					
分野	専門分野	担当教員	深谷 高治			
開講時期	1学年 2・3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	60		4			
科目の概要	非開放性の外傷損傷における保存療法で治療可能な骨折及び脱臼に対し、伝統的柔道整復術を組織学的な理解を基に徒手整復法、ギプス、装具療法、患者指導、機能回復に至る後療法などの技術を用いた柔道整復保存療法を理解する。					
学習の到達目標	国家試験の出題の対象となる内容を習得する。					
成績評価の方法と基準	出席基準を満たした者については、試験結果、提出物、授業態度を考慮し総合的に評価する。					
使用テキスト	教科書(柔道整復学・理論編)					
参考文献	なし					
講義計画	講義内容					
1	骨盤骨骨折(骨盤骨単独骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
2	骨盤骨骨折(骨盤骨輪骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
3	大腿骨骨折(大腿骨近位端部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
4	大腿骨骨折(大腿骨近位端部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
5	大腿骨骨折(大腿骨骨幹部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
6	大腿骨骨折(大腿骨遠位端部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
7	骨盤骨骨折から大腿骨骨折の復習					
8	膝蓋骨骨折の病態・治療法・予後に対する理解					
9	膝蓋骨骨折(分裂膝蓋骨)の病態・治療法・予後に対する理解					
10	下腿骨骨折(下腿骨近位端部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
11	下腿骨骨折(下腿骨骨幹部骨折)の病態・治療法・予後に対する理解					
12	下腿骨骨折下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折の病態・治療法・予後に対する理解1					
13	下腿骨骨折下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折の病態・治療法・予後に対する理解2					
14	下腿骨骨折下腿骨遠位端部骨折および足関節の脱臼骨折の病態・治療法・予後に対する理解3					
15	総合評価(まとめ)					

16	足・足指(趾)骨骨折(足根骨骨折)の病態・治療法・予後に対する理解1
17	足・足指(趾)骨骨折(足根骨骨折)の病態・治療法・予後に対する理解2
18	足・足指(趾)骨(足指骨骨折)1
19	足・足指(趾)骨(足指骨骨折)2
20	下肢骨折の復習
21	股関節脱臼(後方脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
22	股関節脱臼(前方脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
23	股関節脱臼(中心性脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
24	股関節脱臼の復習
25	膝蓋骨脱臼の病態・治療法・予後に対する理解1
26	膝蓋骨脱臼の病態・治療法・予後に対する理解2
27	足部の脱臼(ショパール関節脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
28	足部の脱臼(中足, 足指部の脱臼)の病態・治療法・予後に対する理解
29	膝関節脱臼から足部の脱臼の復習
30	総合評価(まとめ)